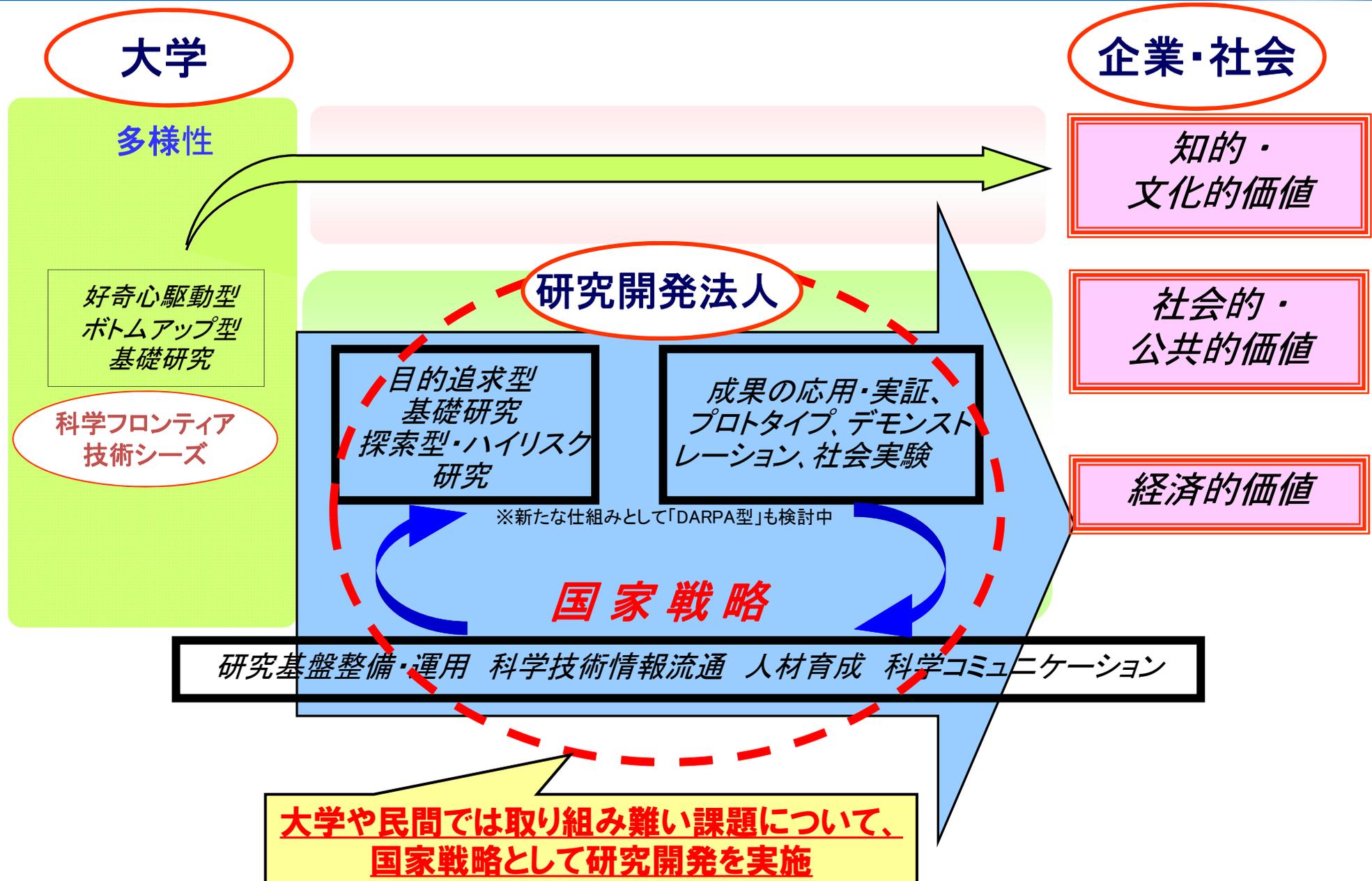
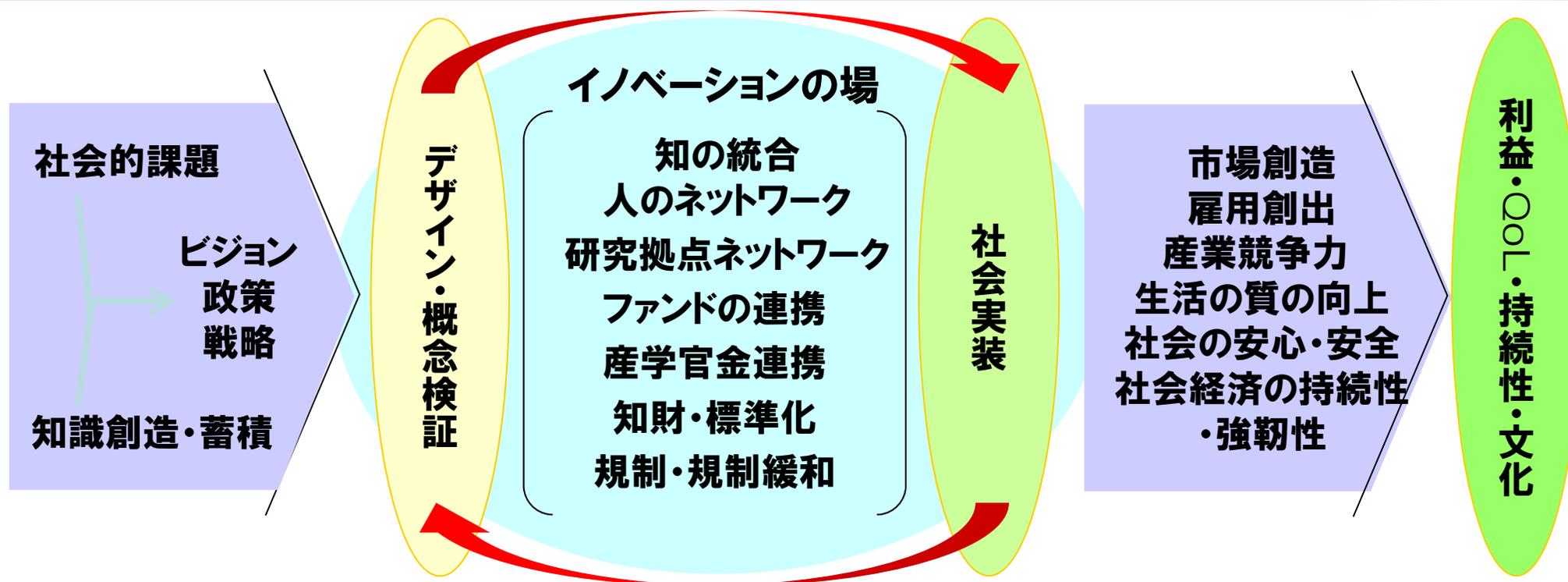


- **ビジョンに基づき研究者、企業を含むさまざまな関与者の共創を通じて構想を磨き、有効性を実証し社会実装するための国際レベルの共創の場の形成が重要。**
- **研究開発法人は、このような共創の場(リアル、バーチャル)を創出する機関として重要な機能を有する。インパクトの大きなイノベーションを継続的に生み出すための取組が必要。**
- **共創の場には、研究者のみならず経営幹部などにも①企業からの人材の参加、②海外の人材の参加(頭脳循環)が不可欠。
このため世界的な人材獲得競争に勝ち抜くべく、人事制度の改革、柔軟な給与設定等が必要。**

日本の研究開発システムの俯瞰と研究開発法人に期待される役割



課題解決型イノベーションが生まれる過程



イノベーション人材: 人材育成、頭脳循環

多様な関与者: 市民、NPO、政治、省庁、産業界、金融、大学、メディア、他とのコミュニケーション

科学技術情報の流通

国家戦略を担う研究開発法人による成果の最大化に向けた取組が重要

バーチャルネットワーク型研究所

～ファンディングをツールとした研究開発法人のあり方～



- JSTでは、ファンディングをツールとした「バーチャル・ネットワーク型研究所」経営により国内外のリソースを結集した最強の研究開発チームを機動的に組織し、成果の最大化を図っている。

(JST戦略的創造研究推進事業の事例)

